

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	第10期神奈川区地域づくり大学校	
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 親がめ
	行政	神奈川区 区政推進課
事業の目的	地域で何かやってみたいという思いをもつ区民が、地域活動・グループ活動のエッセンスや必要なスキルについて、対話形式の連続講座で学び合う。希望者には現場での活動体験も実施する。受講生同士のネットワークをつくり、学びや体験をもとに、新たな活動へ踏み出し、既存の活動の幅を広げ、地域をより豊かにするさまざまな活動をすすめていく。	
事業の内容	別紙チラシ参照	
役割及び責任分担等	別紙参照	
実施期間	2024年7月11日～2025年3月31日	

記入日	2025 年 3 月 31 日
記入者	・団体等名： 特定非営利活動法人 親がめ ・記入責任者 氏 名： 塚原 泉 連絡先： 045-441-3901
	・部署名： 神奈川区区政推進課 ・記入責任者 氏 名： 佐藤 一道 連絡先： 045-411-7026

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せ通りにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	B
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・ 協働三年目にあたる本年はチームメンバーの交代があり、年度当初において、事業における目的や理念について確認しあうことはもちろん、さらに充実したものにするためにという視点で意見交換を行ったことで、それに基づいたプログラムの組み立てを考えることができた
- ・ 10周年を迎えるにあたり、本事業のこの先を見据えたうえで、節目の今年に何を行うことが、これからの豊かな地域づくりに効果的なのかについてアイデアを出し合い、記念誌の発行企画につながった
- ・ 地域ケアプラザコーディネーター、神奈川区社会福祉協議会、区民活動支援センター職員等、各中間支援組織のコーディネーターの参画について、事務局において具体的な役割を検討し、事業初期段階からそれぞれに依頼を行った
- ・ 受講生が地域で活動していくうえで、自治会町内会を担う人と出会い連携していくことの大切さについて確認し、本事業内での交流の機会について検討を重ねた
- ・ 事務局の運営について、対面での打合せに加えメール・電話での連絡を密に、事業計画の進捗状況や役割分担の確認を行った。新たな学びにつながる研修会に共に参加し、さらに新しいアイデア等について、チームで建設的に話し合った
- ・ 第一線で活躍する講師からの知見を学ぶ講義型の内容に加えて、受講生同士が卒業後も続くつながりをつくること、さらに現場を知り実践への第一歩を踏み出すことを念頭に内容の打合せをした。限られた講義の時間の中で、おける「学び」「交流」「実践」のバランスを考慮して、組み立てることができた

【今後改善が必要と思われること】

- ・ 実際に活動を肌で体感する試み「現場へGO」について、その参加者が伸びなかった。現場を知る意義は大きいことから、その導入方法について、必須とする、講座内でとりあげる等、工夫が必要

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・ 各回終了後にふりかえりをその場で持ち、事務局間で感じとった率直な意見共有をしたことが次回以降のプログラム企画に活き、全体を通して受講生の声や目的に沿った事業展開ができた
- ・ 各回プログラムについて、打合せであらかじめミッションを共有しておくことで、細かな時間設定にとらわれず、その場でリアルタイムに起きる対話と学びの収穫を得られるよう、チームが臨機応変に動くことができた
- ・ 受講生ひとりひとりの相談会の様子を事務局で共有し、誰とつながれば、そのプランの実現性が高まり、また、地域でその活動がひろがっていくかについて検討したうえで第5講にのぞんだことで、実際にそれぞれがつながり、卒業後の具体的なアクションにつながった。

【今後改善が必要と思われること】

- ・ 受講生のアクションプランが固まってきた第4講に、地域ケアプラザコーディネータに参加をしてもらい、受講

生と知り合い、プランへの地域資源等の情報提供や具体化のためのアドバイス等を期待したが、参加がかなわない地域もあった。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・ 互いのネットワークに働きかけることや掛け合わせることで、参加者やつなげる先の裾野が広がり、その結果、思わぬコラボが生まれるなど協働の効果を存分に感じることができた
- ・ 10期を記念して行った第5講の第2部「まちカフェ」において、自由な交流時間を十分設けたことで、受講生が自地域の自治会町内会長と知り合うことができた。受講生にとってはその活動実現の足掛かりをつかむことができ、自治会町内会にとっては新たな人財に出会い、活動を活性化させる契機となるという、双方にとって実りの多い機会となった
- ・ 「まちカフェ」は卒業生同士や卒業生と受講生等も、それぞれが知り合い、期を越えて活動が広がる一助にもなった。ICTチームや花まちプロジェクト等、卒業生の活動がひろがるにつれ、受講生の活動の受け皿にもなっている。また、力のある卒業生自身が地域のコーディネータとなり、人と人、活動と活動をつなげている。
- ・ 講座内では対話の時間を多く設け、受講生同士の交流を深めたことで、受講生同士でやりとりできるツールが生まれ、活動にお互いの知恵や力を活かすネットワークができている
- ・ 地域ケアプラザのコーディネータや区民活動支援センター職員の参加により、その担当地域や担当分野における具体的な事業の展開、継続につながる事例がみられた
- ・ 区内で長年に渡り活動する法人が協働運営することで、区と法人の顔の見えるネットワークが活かされ、さまざまな地域活動にピンポイントでつなげることができた
- ・ 卒業生のすすめで応募する人や、すでに自身の関心のあるテーマをもって地域で活動中の人の応募が、今回も多かった。自治会町内会やPTA等既存の地域活動が人材不足を訴える現状の中、定員を超える応募があり、学生や現役世代を中心として地域活動に熱意ある層を発掘し、とりこんで開催できているのは、地域づくり大学校が10期を数え、この講座の面白さや楽しさが広まっていることや、220名を超える卒業生が実際に地域で活躍していることの効果の顕れである。
- ・ 地域子育て支援拠点事業運営法人との協働によって、拠点事業ネットワーク機能・常設の場をもって、30代40代、大学生の受講者や町内会の人等と、継続的なつながりを育むことができた

自由記入欄

- ・ 就労しながら地域活動に取り組む人が増える中、今回の受講生も就労中の方が多く、土日や平日夜に活動するニーズが高いことが事業を通して感じられた。活動に伴走する役割が期待される区民活動支援センターの窓口が平日日中であることが、その連携を考える上で課題となっている
- ・ 受講生・卒業生によって生まれた活動の芽は、継続したサポート、スキルを持ち合わせたコーディネーターの伴走が欠かせない。地域子育て支援拠点ネットワーク・人材育成機能(協働協定書に明記されている)を検討し、区民活動支援センター機能を改めて見直すことで、中間支援の役割が強化されると感じている
- ・ 地域づくりをテーマにした起業やSNSを利用したコミュニティ活動等、経済活動と地域活動の両立が見られるようになっている。就労型社会において、地域活動を持続可能なものにしていくために、経済的な活動は不可欠である。今後、この事業をさらに充実したものにしていくために、公的資源のみならず、地域密着の民的资源等、多様な主体の力を借りた事業運営が求められる

(役割分担)

事業項目	親がめの役割	市の役割
1 企画及び関係機関連絡調整	<ul style="list-style-type: none">・ 企画・ 関係機関等との連絡調整	<ul style="list-style-type: none">・ 企画・ 関係機関等との連絡調整
2 広報及び受講生の募集	<ul style="list-style-type: none">・ 募集チラシの作成	<ul style="list-style-type: none">・ 受講生への連絡・ 募集チラシの作成補助
3 講座当日運営及び備品等の準備	<ul style="list-style-type: none">・ 会場確保・ 資料印刷・ 運営管理	<ul style="list-style-type: none">・ 会場確保・ 運営管理
4 報告書の作成等	<ul style="list-style-type: none">・ アクションプランのとりまとめ・ 報告書の作成	<ul style="list-style-type: none">・ アクションプランのとりまとめ補助・ 報告書の作成補助
5 事業の振り返り	<ul style="list-style-type: none">・ 実施	<ul style="list-style-type: none">・ 実施

第10期 神奈川区地域づくり大学校 募集要項

- 対 象 ・ 区内在住、在学、在勤の方
・ これから神奈川区内で何か地域活動をやってみたい方
・ 神奈川区で自治会町内会等の地域活動(青少年指導員、スポーツ推進委員、民生委員・児童委員、PTA、子ども会、おじの会など)に関わっていて、新たな活動や活動の工夫を考えている方
・ 上記以外で神奈川区内の地域活動に関わっていて、新たな活動や活動の工夫を考えている方
- 定 員 20名程度(応募多数の場合は選考)
- 受 講 料 無料(交通費等はご負担ください)

- 申込事項 ① 氏名(ふりがな) ② 住所 ③ 電話番号(連絡をとりやすい番号)
④ Eメールアドレス ⑤ 年代(例: 40代)
⑥ 現在参加している地域活動
⑦ 加入している自治会・町内会の名称
⑧ 自治会・町内会からの推薦の有無(推薦は必須ではありません)
⑨ 参加動機とこれから地域でやってみたいこと(100~200字程度)※
⑩ 保育を希望する場合は、お子様の年齢

※⑨【参加動機とこれから地域でやってみたいこと(100~200字程度)】

あなたの「参加動機」と「これから地域で やってみたいと思っていること」について教えてください。
(お書きいただいた内容は、講座の中で他の受講生と共有させていただきますのでご了承ください。)

上記の申込事項をご記入いただき、申込フォームまたはEメール、FAX、郵送にて、
神奈川区役所区政推進課までお申し込みください。

- 申込締切 10月14日(月/祝) 必着 10月21日頃までに結果をお知らせします。

- 申込・問合せ先 神奈川区役所区政推進課(担当 高橋・宮前・後藤)



地域大の紹介動画

〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町3-8
電話: 045-411-7026 FAX: 045-314-8890
Eメール: kg-tiiki@city.yokohama.jp



申込フォーム

地域活動に無縁であった自分が、
すでに活動している人や
活動をしたい人に出会えたことは
とても良かったです。(50代男性)

考えていた以上に、
地域をよくしたいと
思っている人が多いことを
知りました。(40代女性)

地域でやりたいことを
言葉にすることができて、
やりたいことがさらに
広がりました。
(20代女性)

ゲストスピーカーの方々の
整理されたご知見、ノウハウ、
ご経験を短時間でお聞き
できて役に立ちました。
(30代男性)



第10期 神奈川区地域づくり大学校

自分らしさで生み出す 新しい地域づくり

～人・コト・縁 ギュギュっとつながる～

受講生募集中

募集期限

2024年10月14日(月)

保育サービスあり

6ヶ月以上～未就学児
(定員5名)



主 催 神奈川区連合町内会自治会連絡協議会 / 神奈川区役所 / NPO法人親がめ
協 力 社会福祉法人 横浜市神奈川区社会福祉協議会



詳細はこちら

地域づくり大学校は、今年で10周年を迎えました。

これまで200名以上の卒業生が巣立ち、たくさんの魅力的な活動が生まれ、地域の力になっています。

今期のプログラムは「自分らしで生み出す新しい地域づくり」がコンセプト。

自分の持ち味や関心のあることを生かして、地域の仲間を増やしなが

ら、「やりたいことを地域活動のカタチにしていこう」プロセスを学ぶ全5回+αです。

自分の想いを地域につなぎ、より豊かで幸せな暮らしに向けて、皆で学び合ひましょう。

第1講 10月27日(日)

時間 13:00 - 16:00 場所 かなーちえ

NPO法人まち・学生プロジェクトplus
常務理事 原島 隆行 氏

ここからはじまる地域づくり大学校
～知り合う・対話が弾む! すぐろくワーク体験～



第一歩は互いを知り合う対話タイム!
これからの地域づくりについて語り合います。
さらに、すぐろくを使い、ゲーム感覚で楽しく
仲間づくりを進めます。

第2講 11月24日(日)

時間 13:00 - 16:00 場所 かなーちえ

NPO法人CRファクトリー
代表 呉 哲煥 氏

強くあたたかい
コミュニティづくりのヒント
～立ち上げ方・つくり方・まわし方～



コミュニティ運営の特性を深く理解しながら、
みんなと一緒に力を合わせて楽しく活動する
ノウハウを学びます。

第3講 12月15日(日)

時間 13:00 - 16:00 場所 かなーちえ

コトコト商店(仮) 稲葉 志野 氏(第8期卒業生)
学びの寄合所 ZONE 江藤 雅哉 氏(第9期卒業生)

いろいろな活動のカタチ
～先輩たちが語る私の原動力～



地域づくり大学校卒業生の活動の数々を紹介!
いろいろな人の経験や知恵にふれ、自分のアクション
プランへのアプローチ方法を仲間と探ります。

第4講 1月19日(日)

時間 13:00 - 16:00 場所 かなーちえ

東京しごとセンター
多様な働き方専門相談員 吉原 明香 氏
社会福祉法人
横浜市神奈川区社会福祉協議会 職員

アイデアを磨く!
～対話×ひらめき×この指とまれ～



対話や多様な視点からアクションプランのアイデア
を膨らませながら、お互いの地域活動を協力しあう
仲間を見つけます。

相談会



各々のアクションプラン
を実現するための
相談会です。
数人で日程を合わせ
ます。アイデアや情報
を持ち寄りましょう。

第5講 2月16日(日)

時間 13:00 - 17:00 場所 神奈川区役所 5階大会議室

※アクションプランは地域で実践したい取り組みを具体化した計画です。
アクションプランの提出をもって卒業となります。

【第1部】
アクションプラン
発表会
～終わりがはじまり～



自分のやりたいことを地域活動として
具体化したアクションプランを
発表します。

【第2部】
祝10周年!
地域づくり大学校 記念イベント
～楽しむ・つながる～



地域大10年のあゆみをふりかえり、
これからの地域づくりに向けて
いろいろな活動者同士が出会い、語り合
う“地域活動マッピング”を開催します。

神奈川区地域づくり大学校 5つの柱

1 対話力をつける

自分の中にある「〇〇したい」
という動機を掘り起こし
仲間たちとの
対話をおとして
さらに問い続ける

2 知る力をつける

地域の現状や
さまざまな活動を知り
アンテナを磨く

3 地域活動に 必要なスキルを学ぶ

地域づくりに欠かせない
アイスブレイク
ファシリテーションなどの
技法を身につける

4 実践の場から 感じる

地域の実践の場へ出向き
ココロとカラダで
いろいろなコトを体験、
吸収する

5 ネットワークに つながる

卒業後もそれぞれの
具体的なアクションが
つながり合うように
チームで知恵と力を
寄せ合う

「現場へGO!」 地域の現場へ 実習体験

地域のさまざまな「現場」へ
出向く活動体験タイム。
実習先の紹介や日程について
は講座内でお知らせします。
(希望制)



区内で活動する コーディネーター とつながれます♪

区内には神奈川区社会福祉協議会、
地域ケアプラザ・神奈川区民活動
支援センター・かなーちえ等、
コーディネーターがたくさんいます。
コーディネーターは顔と顔、情報を
つなぐ、皆さんのサポーター。

地域づくり大学校では
コーディネーターと
知り合い、つながる
きっかけをつくります。



総合ファシリテーター

NPO法人 親がめ 理事長 塚原 泉 氏

【神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ】
JR東神奈川駅・京急東神奈川駅 徒歩3分

※ 日時・会場・講師・内容が一部変更になる場合があります。